

文 教 科 学 委 員 会

委員一覧 (21名)

委員長	高橋	克法 (自民)	臼井	正一 (自民)	宮口	治子 (立憲)
理事	赤池	誠章 (自民)	櫻井	充 (自民)	伊藤	孝江 (公明)
理事	今井	絵理子 (自民)	末松	信介 (自民)	竹内	真二 (公明)
理事	上野	通子 (自民)	高橋	はるみ (自民)	中条	きよし (維新)
理事	熊谷	裕人 (立憲)	橋本	聖子 (自民)	松沢	成文 (維新)
理事	伊藤	孝恵 (民主)	古賀	千景 (立憲)	吉良	よし子 (共産)
	赤松	健 (自民)	斎藤	嘉隆 (立憲)	船後	靖彦 (れ新)
						(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第210回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、可決した。また、本委員会付託の請願5種類48件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法の一部を改正する法律案は、中長期的な人材の育成の観点から特に支援が必要と認められる分野における教育研究活動の展開を促進するため、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構について、大学及び高等専門学校の学部を設置等に関する助成金を交付する業務を追加するとともに、当該業務に要する費用に充てるための基金を設けようとするものである。

委員会においては、基金による支援の内容、理工系分野への進学希望者を増やすための取組等について議論が行われ、討論の後、採決の結果、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査〕

10月27日、経済安全保障分野での文部科学省の取組状況、「旧統一教会」と政務三役との関係、子供の時期からヘルプマークについて教える必要性、教員の勤務時間管理における虚偽報告の実態に対する文部科学省の認識、令和5年度から開始される「トビタテ！留学JAPAN」の第2ステージの事業概要、検証総括委員会を立ち上げて東京オリンピック・パラリンピック競技大会をめぐる贈収賄疑惑の検証及び総括を行う必要性、日本文化継承のための文部科学省の予算及び政策、国や自治体の家庭教育支援政策における「旧統一教会」の影響について調査する必要性、障害のある子供の就学先決定の仕組みを改める必要性等について質疑を行った。

11月15日、グローバル人材育成のための海外留学の推進に向けた文部科学省の取組、「旧統一教会」に対し宗教法人法に基づく質問権を行使することを文部科学大臣として判断した理由、教員不足の要因に対する文部科学省の認識、高等学校情報科の教員等の確保に向

けた取組、文化芸術分野において書面による契約を義務付ける必要性、教員の在校等時間の虚偽申告が疑われる事例に対する文部科学大臣の見解及び文部科学省の対応、大学入学共通テストの英語4技能試験に関して指摘された課題の東京都の中学校英語スピーキングテストにおける解消状況、国連障害者権利委員会が求めるインクルーシブ教育に対する文部科学省の認識等について質疑を行った。

11月24日、教育に関する実情調査のため、目黒区立油面小学校を視察した。

(2) 委員会経過

○令和4年10月25日(火) (第1回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。

○令和4年10月27日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 経済安全保障に係る文部科学省の取組に関する件、「旧統一教会」と政務三役との関係に関する件、ヘルプマークの普及に関する件、教員の働き方改革に関する件、日本人留学生への支援に関する件、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件、日本文化の継承に向けた文部科学省の取組に関する件、「旧統一教会」が政策に与えた影響に関する件、障害のある子供の就学先決定の在り方に関する件等について永岡文部科学大臣、築文部科学副大臣、井出文部科学副大臣、伊藤文部科学大臣政務官、山本文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

赤池誠章君(自民)、熊谷裕人君(立憲)、宮口治子君(立憲)、古賀千景君(立憲)、竹内真二君(公明)、松沢成文君(維新)、伊藤孝恵君(民主)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

○令和4年11月15日(火) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- グローバル人材の育成に関する件、宗教法人法に基づく質問権の行使に関する件、教員不足への対応に関する件、高等学校情報科の実施に関する件、文化芸術分野における契約関係に関する件、教員の在校等時間の実態把握に関する件、東京都における中学校英語スピーキングテストに関する件、インクルーシブ教育の在り方に関する件等について永岡文部科学大臣、築文部科学副大臣、井出文部科学副大臣、伊藤文部科学大臣政務官、山本文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

上野通子君(自民)、熊谷裕人君(立憲)、斎藤嘉隆君(立憲)、竹内真二君(公明)、中条きよし君(維新)、伊藤孝恵君(民主)、吉良よし子君(共産)、木村英子君(れ新)

○令和4年12月2日(金) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法の一部を改正する法律案(閣法第21号)(衆議院送付)について永岡文部科学大臣から趣旨説明を聴き、同大臣、秋野財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

櫻井充君（自民）、宮口治子君（立憲）、古賀千景君（立憲）、竹内真二君（公明）、松沢成文君（維新）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）

（閣法第21号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派 共産

欠席会派 れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和4年12月10日（土）（第5回）

- 請願第131号外47件を審査した。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。